

カナダ研修旅行を終えて

生命環境科学研究科 環境科学専攻 森林生理生態学研究室 M1 奥田 岬

5月にラバル大学から学生の皆さんが本学大野演習林に来た際に、会話を通じて日本とカナダ（ケベック）では考えていた以上に植生や林業が違う事を知り、この機会にもっと自分で見て学びたいと思い参加しました。広大な土地を有するカナダは全てにおいてスケールが大きく、それは森林に関しても例外ではありませんでした。山火事と病虫害により多くの森林が失われても、それを攪乱として捉え、考慮した上で林業施行をするという考え方には衝撃的でした。建物、電柱など至る所に木材が使われており、林業従事者の多さにもただ驚くばかりでした。雄大な景色、変わった植物などを見ることができた一方で、苦勞したのは言語の壁でした。英語の説明を受けても、最初はあまり理解することができませんでした。しかし、まわりの皆も含め必死で聞こう、話そうという努力をし続けた結果、短期間ながら少しずつではありますが理解も深まりました。また現地でお世話になった先生や学生との交流もとても刺激的なものとなりました。言語、交流、学習というあらゆる点が刺激となった今回の研修旅行での経験を、今後の研究活動の励みにしていきたいと思えます。最後になりましたが、この研修旅行に携わった皆様に大変感謝いたします。